
ノン カピスコ・怪しい卵

天野 涙

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ノン カピスコ・怪しい卵

【Nコード】

N9732D

【作者名】

天野 涙

【あらすじ】

アメリカに住む今日子は、子供が欲しくなり精子バンクで、優秀な男性の精子を選別。そして人工授精で、子供を授かる。その精子の提供者は、政府に拘束されてた危険人物だった。

アメリカで登録した精子バンクで、今日子は精子を買った。条件は、優秀な男性の精子。日本人でなくてもいい気がした。どうせ、一人で育てるつもりだったから。関係ない。

B Fは何人かいたが、どうにも体の関係には至りたくない。
（今日子は、ガードが堅いよね。日本人には珍しい・・・）
皮肉混じりにそうも言われた。そして付いたあだ名は（鉄の女）

その鉄の女も、もう30代半ば。
仕事は面白かったけど、一日疲れ切って、ベッドに横たわると何とも空しい。

（子供が欲しい・・・。）無性にそう思った。
でも・・・種馬が見つからない。ベンも、マイケルも、アンソニーも
いい人だけど、自分の理想の子供の父親には似つかわしくないように
に思えた。

2

そんな時、精子バンクのサイトを見つける。
それなら、行為をしなくて済む。一回10万円もしない。
登録者リストを見ると、医師・弁護士・政治家・スポーツ選手等々
父親としては、不足はないメンバーのように思えた。

さっそく登録する。パーンとはじくように勢い夢中でキーを押し
恐ろしく簡単に事は進んだ。

もう、今月そろそろ生理が終わる頃、時期的には悪くなかった。

そしてさっそく候補選び。

今日子は、とにかく優秀な精子を選別。そしてある人物にたどり着いたのである。

NY州に住む30代の男性。優秀な科学者のようだ。さぞ、優秀な子供が授かるにちがいない。今日子は、一人、パソコンの前でほくそ笑んだ。

今日子が、男性に身体をひらかないのは、わけがあった。義父に小さい頃、犯されたから。

母親のいない留守に、そのころ一緒にいた若い義父に犯されたのだ。

離婚した父親の元に走り、その後の関係にはいたらなかったがその事が、今日子の心に深い傷を残した。

なので、どんなに思いを寄せる男性に抱かれようとしても、その時の記憶がフラッシュバックして、どうにも身体が開けない。

そのうち、男達はみな今日子の元を去ってしまうのだ。

勉強の出来た今日子は、大学を出た後外資系の会社に就職して単身渡米した。その後家族と会うこともなかった。

それぞれに再婚した両親は、新しい家族との生活に忙しい。そして今日子本人も、その事に対して不満もなかった。

（私は一人ぼっち。だから子供を産もう。）そう決めたら、迷いはなかった。

さっそく次の排卵日の頃に、人工受精を実行。見事に新しい命を授かる事に成功した。

しかし、彼女は何も知らなかった。

その胎児の父親がどんな人物かを。そして、どんなDNAを引き継

いだかを知らなかった。

それから数ヶ月後、今日のお腹の子供は、順調に育っていた。

『ねえ、今日子。あの噂知ってる？』

同僚のキャサリンがランチの時に声をかけてきた。

『え？何の噂？』

謎の新種のウイルスが秘かに流行しているという。

そのウイルスは、空気感染で広がり、感染すると驚くほどの早さで体内で成長するらしい。

しかし不気味なことに、感染者は皆、体内から木をはやすと言っているのだ。

内臓を突き破り、大きな木をはやした死体が、動画サイトで公開されてるとか。

そしてある街の住民の広範囲に広がり、またたまくまに不気味な森林が
林が
出来上がったとされる。

政府が、そのウイルスの発案者とされる危険人物を拘束したとネットでは噂のまじ。

でも・・・キャサリンはあることを危惧していた。

その危険人物が、精子バンクに登録していたと聞いたからだ。

『僕が失せた後もDNAは引き継がれるのさ。』

バカな女にとって、僕の精子は魅力だろうしね。』と話していると。

今日子から精子バンクの話聞いていた彼女は、その件が心配だった。

でも、お腹の中で、新しい命を宿しあまりに幸せそうな今日子の顔を見ると、言えなかった。

キャサリンの不安は的中している。

そして、そのまま何も知らない今日子は、出産の日を迎えるのだ。陣痛は執拗に、彼女を苦しませる。まるでお腹を突き破るかのような痛み。

『今日子、しっかり、もうすぐよ。』と産科医は励ます。そして……次の瞬間

『へい、ママ』と聞こえた。

空耳か……今日子はもうろうとする。

『まあ、さすが優秀な精子の子供ね。成長が早いわ』と驚く産科医

(そうよ、私の子供は優秀なのよ。)
今日子は満足げに、微笑む

およそ、新生児とは思えない大人びた顔の息子に……

『ハロー、マイベイビー。私がママよ。』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9732d/>

ノン カピスコ・怪しい卵

2010年10月10日23時38分発行